看護学科 １年前期 総合科目

１. 人間関係論

２. 倫理学

３. 心理学

４. 地域つくりかえ学

５. English Base

６. 日本文化

７. 日本語表現技法

８. ICT ベーシック

看護学科

科目名: 人間関係論					担当教員 氏名: 尾山 敦子
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修／選択	備考
2	1年次	前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
・人間関係論は、人間性心理学(交流分析)を中心に学習し、講座を通じて「自他を受け入れ認められる人」「人と親密に係ることができる人」を目指す。 ・自己のパーソナリティの認識と改善、他者への気づきと円満な対応、状況と相手に相応しいやりとり選択、効果的なストローク(ふれ合い)交換、自己の感情や行動の傾向に気づいて改善することを目指す。従って、大学などの学生層、とりわけ心理系。看護系、福祉系、コミュニケーション系カリキュラムに対応するプログラムである。交流分析のスローガンは「人は誰でもOKである。過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と私。自分が変われば相手が変わる。」	・人間性心理学 ・人間力 ・交流分析(TA) ・エゴグラム ・パーソナリティ理論 ・コミュニケーション法 ・やりとり・傾聴・ストローク

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号) 1. 2. 3. 5. 7. 8.
A 知識・理解力	・自己のパーソナリティ認識と成長法
E 自己管理力	・人生の構えのゆらぎと改善、・人生脚本の書き換え等
F チームワーク・リーダーシップ	自他のパーソナリティを認識した係り方・やりとりパターンの改善(傾聴法、アサーションを含む)・ストローク授受の改善
G 倫理観	・自他受容(人は誰でもOKである。人は誰でも考える力をもっている。)
H コミュニケーション力	・エゴグラム分析、 ・やりとりパターンの改善、 ・ストローク授受の改善

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %

特記事項:アクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行なう。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:随時実施する。
補修・試験日に期末テストを実施する。(テスト・レベルは上述の到達目標による。)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:テスト並びに提出課題については次回にフィードバックをし、確実な講義内容の修得と、支援活動における実践力養成につなげる。なお希望者には随時個別面談を行う。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①人間関係論とは何か 人間関係論の必要性と目的 自己紹介(グループワーク)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
②第1章:自我状態とは何か「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の構造分析・機能分析)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
③第1章:「今、ここ」でのパーソナリティ (エゴグラム心理分析)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
④第1章:「今、ここ」でのパーソナリティ (自我状態の本来の機能を引き出す方法)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑤第2章:やりとり分析 (相補交流・交差交流・裏面交流)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑥第2章:やりとり分析 (事例:やりとり分析)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑦第3章:ストローク (ストロークの種類・ストローク経済の5つの理解)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑧第3章:ストローク ディスカウント (事例::ストローク)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑨第4章::人生の立場 人生の立場の成り立ち (事例::人生の立場)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑩第5章:心理ゲーム (心理ゲームとは? ゲームの公式)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑪第5章:心理ゲーム (事例:心理ゲーム)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑫第6章:時間の構造化 時間の構造化の6つのステップ (事例:時間の構造化)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑬第7章:人生脚本 人生脚本の成り立ち (事例:ドライバーカード)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑭第7章:人生脚本 (ドライバー行動)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分
⑮第8章: まとめ―学び続ける- (自己改善の行動目標設定)	【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分

使用テキスト: 「交流分析士初級テキスト」(NPO法人日本交流分析協会発行) 電子書籍 ※随時プリントを配布します。	その他の参考文献など: TA TODAY 最新・交流分析入門 I・スチュアート 著 V・ジョインズ 著(実務教育出版)

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):「自分を受け入れ、人をも受け入れることができる人」「自他のパーソナリティを認識し、それにふさわしい対応ができる人」を目指す。人にとって人間性豊かな係わりは、何物にも代え難く有り難い励ましである。人間関係論は、今後の人生を通じて、色々な場面で、いつも役に立つ。人間関係論(交流分析)は心理カウンセラーへの導入路でもある。
「人間関係論」おいて初級講座(20時間)を受講後、認定試験(1日)合格者は、NPO法人日本交流分析協会「交流分2級講座」に編入でき、終了後は「交流分析士2級」(登録商標)の認定試験を受験でき、資格取得が可能となる。

看護学科

科目名: 倫理学					担当教員 氏名: 鈴木 康文	
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
人間の本質は理性的に自らの人生を切り開く自由・自律の精神にある、と捉える近代的な立場を主題として、その歴史的背景、意義、および社会的展開を明らかにする。 さらにその上で、この近代的な人間観を、現代の具体的な事例をもとに、さまざまな立場から批判的に吟味する。	・近代 ・現代 ・個の尊厳 ・自由 ・理性 ・民主主義 ・同調圧力 ・リスク ・放射能 ・反ワクチン運動 ・動物の権利 ・戦争

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．3．6．7．10
A 知識・理解力	現代の価値観(かけがえのない個＝人間の尊厳)の歴史、意味、それを支える社会的制度を知る。
C 論理的思考力	現代の価値観から導かれる善悪について論理的根拠に基づいて考察する。
D 問題解決力	現代の価値観から生じるさまざまな社会問題・ジレンマについて、問題解決の方策を検討する。
E 自己管理力	現代の価値観から導かれる自律(自分を律する)の精神を身につけるとともに、その限界も理解する。
G 倫理観	現代の倫理の考え方を理解し、医療従事者になったときに生じる倫理的ジレンマに対する受容度を高める。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 90 %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %

特記事項:本科目は、アクティブラーニングの一環として、映像資料を用いた事例検討を実施します。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:授業後にリアクションペーパーを課題とします。最後の授業終了後に課題レポートの提出を求めます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:各回授業後のリアクションペーパーについては、次回の授業で簡単にフィードバックをします。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①イントロダクション:本講義の全体像。現代の価値観「かけがえのない個」の意義	【予習】講義概要を熟読しておく。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
②自由主義(1) 人間の本質は自由か理性か？	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
③自由主義(2) 愚行権、さらに法と道徳の問題について	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
④功利主義(1) トロッコ問題から功利的な社会を把握する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑤功利主義(2) 民主主義と多数決原理の問題点を探究する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑥事例:原発問題(1) 映画『パンドラの約束』を見て、エネルギー問題を考える	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑦事例:原発問題(2) 映画『パンドラの約束』を見て、技術のあり方を考察する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑧事例:原発問題(3) 安全と安心(リスク評価とその限界、感情について)	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑨人間の権利(人権)と動物の権利(1) 動物に対するさまざまな見方・態度を学ぶ	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑩人間の権利(人権)と動物の権利(2) 人間と動物を分けるものは何かを検討する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑪現代の人間観(理性と感性)(1) 人間の認知能力を知る	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑫現代の人間観(理性と感性)(2) 人間の理性能力と直観能力を探究しその限界を自覚する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑬諍いと戦争(1) 戦争について人類史から捉える	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑭諍いと戦争(2) 戦争を事例として人間の理性の信頼性について洞察する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分
⑮まとめ 現代の人間論を概括する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分

使用テキスト:なし。授業中にプリントを配布します。	その他参考文献など: 鈴木宏昭『教養としての認知科学』、東京大学出版会、2016年。ISBN: 978-4130121101

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):授業冒頭に課題を理解するための映像資料を見てもらいます。

看護学科

科目名: 心理学					担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修／選択	備考
2	1年次	前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	心理臨床の実務経験に基づき、精神障害の理解、心理アセスメントの技法、心理臨床の事例検討などについても授業展開の中に盛り込んでいる。				

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ③日常生活と心の健康との関係について理解する。 ④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる。	ストレス、感情、認知、社会、発達、心理的支援

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 5. 6.
A 知識・理解力	心理学の基礎知識について理解している
C 論理的思考力	人間の行動や心理について科学的、客観的に思考する基礎的な力を身に付けている。
E 自己管理力	自己について理解を深めることで自己管理力を高める

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 50 %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %

特記事項: 自発的な授業時間外学習および積極的授業参加に基づいて成績評価を行う。クリッカーを用いた双方向型授業を行います。また第15回目は、ポスターツアーによるプレゼンテーションを行います。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　(グループワーク)　(プレゼンテーション)　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期: 初回時に授業の進め方および評価方法を説明します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 主体的に学習できるように、学習到達度について毎回フィードバックします。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①心理学とは(心理学の歴史と対象、心を探究する方法の発展)	【予習復習】心理学の学問領域	30分
②動機づけと適応	【予習復習】クエスト1:動機づけ	180分
③感情・情緒	【予習復習】クエスト2:感情	180分
④感覚・知覚・認知	【予習復習】クエスト3:感覚・知覚・認知	180分
⑤学習・行動	【予習復習】クエスト4:学習	180分
⑥記憶・知能	【予習復習】クエスト5:記憶・知能	180分
⑦性格	【予習復習】クエスト6:性格	180分
⑧対人関係と集団:社会心理	【予習復習】クエスト7:社会心理学	180分
⑨生涯発達(発達課題と発達段階、認知・言語・愛着・道徳性の発達)	【予習復習】クエスト8:発達	180分
⑩心の健康とストレス	【予習復習】クエスト9:ストレス	180分
⑪精神障害・知的障害	【予習復習】クエスト10:精神障害・知的障害	180分
⑫発達障害・認知症	【予習復習】クエスト11:発達障害・認知症	180分
⑬心理学的アセスメントと心理的支援の基本的技法	【予習復習】クエスト12:心理アセスメント	180分
⑭心理療法における介入技法の概要	【予習復習】クエスト13:心理療法	180分
⑮心理学における人間観と心理的支援	【予習復習】ボスレベルクエスト:心理学における心理的支援	240分

使用テキスト: 指定テキストはありません。必要な参考資料は、図書館等で自ら収集してください。	その他参考文献など:心理学事典[平凡社];心理学辞典[有斐閣];心理学辞典[丸善];アイゼンク教授の心理学ハンドブック[ナカニシヤ出版]

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):クエスト型授業によるアクティブ・ラーニングで学びます。履修学生同士が協働しながら、心理学の概要を楽しく学びます。学ぶことに喜びを感じるようになることが、この授業の第一の目標です。参加しないと損しますよ。

看護学科

科目名: 地域つくりかえ学					担当教員 氏名:	とりまとめ:宮城(社会福祉学科)、岡野(幼児教育学科)、米山(看護学科)ほか
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。	つくり・つくりかえ・つくる、『私』宣言、地域社会、実践躬行

授業における学修の到達目標

学習教育目標(卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標(福短マトリックスで示される番号) 2. 5. 7. 8
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。
E 自己管理力	地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。
G 倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
F チームワーク・リーダーシップ	【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。
C 論理的思考力	【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つ くる」の実践力を持つ。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 70 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %

特記事項:AD教員が、担当学生の評価にあたる。最終レポート「つくりかえレポート」100点+「週フォリオ」各100点の平均点をレポート評価とする。その他30%は「自分づくりをすすめる意欲・態度」で評価する。

アクティブラーニング要素:
(課題解決型学習) ディスカッション、ディベート (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期::「つくりかえレポート」については、1回目の授業内で説明し提示する。課題レポートは中間と最終の2回提出する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:課題レポートの評価およびフィードバックはAD教員から行う。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①【泉】富山福祉短期大学で学ぶ意義	講義資料をもとに復習	復習60分
②【宮嶋】ボランティア活動、社会貢献	講義資料をもとに復習	復習60分
③【宮城、岡野、米山】フォトロゲイニング“ふくたんを探検“	講義資料をもとに復習	復習60分
④【竹ノ山】学修可視化ツール:ふくたんICEマトリックス、週フォリオ	講義資料をもとに復習	復習60分
⑤【松尾】地域課題発見力とは	講義資料をもとに復習	復習60分
⑥【長谷川】アカデミックスキルズ① 大学の学び方(学び方を学ぶ)	講義資料をもとに復習	復習60分
⑦【泉】アカデミックスキルズ② レポートの書き方	講義資料をもとに復習	復習60分
⑧【高橋】アカデミックスキルズ③ 効果的なプレゼンテーション	講義資料をもとに復習	復習60分
⑨【石津】アカデミックスキルズ④ 協働力向上:グループワークの極意	講義資料をもとに復習	復習60分
⑩【宮越】アカデミックスキルズ⑤コーチング	講義資料をもとに復習	復習60分
⑪【米山】チーム力向上①(学生によるレクリェーション企画)	講義資料をもとに復習	復習60分
⑫【米山】チーム力向上②(学生によるレクリェーション企画)		
⑫【米山】チーム力向上③(学生によるレクリェーション企画) (呉羽青少年自然の家)		
⑭【高橋】社会に役立つ人材になるために(呉羽青少年自然の家)		
⑮【ゲストスピーカー】金融リテラシー 経済的に自立した社会人になるために(呉羽青少年自然の家)		

使用テキスト:	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):

看護学科

科目名： English Base					担当教員 氏名： リュウ エドワード	
単　位	開講時期（年次・期）		科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修	

実務経験を用いてどのような授業を行っているか：	A native Japanese and native English speaker will implement interactive classes to use and develop basic understanding of English as L2 with language and contextual support in student's L1.

授業科目の学修教育目標の概要：	キーワード
The objective of this core English course is to develop functional ability and core understandings in the English language, with a focus on leveraging technologies for language access. The course covers essential skills such as grammar, vocabulary, listening, and discussion. The syllabus is tailored to enhance students' capacity to communicate in English across various everyday scenarios and practical applications, incorporating technology as a key tool in this process. Furthermore, the course seeks to cultivate an appreciation for the cultural nuances of the English language.	Basic English Communication Skills Basic Grammar Skills Technology Integration in Language Learning

授業における学修の到達目標

学修教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．3．4．5．8．
A　知識・理解力	Knowledge of core English concepts will allow students to make statements about themselves, recall events and express intentionality.
F　チームワーク・リーダーシップ	Small groups are integral in facilitating understanding, expressing personal perspectives on select topics, and reflecting on subject-specific content .
H　コミュニケーション力	Communicating clearly is important whether you are communicating with your boss, a colleague, a teacher, or a friend. In language learning unclear, vague communication can lead to misunderstandings. This course will address contextually appropriate tone and register for communication.

成績評価の方法・基準：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト：　50　％	レポート：　　％	発表：　20　％	実技試験：　　％	その他：　30　％

特記事項：Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.

アクティブラーニング要素：
課題解決型学修　　ディスカッション、ディベート　　グループワーク　　プレゼンテーション　　実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：
テストを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：
テストとインタビューのフィードバックは、個別に指導する。

授　業　計　画	準備学修（予習・復習等） 学修内容	学修に必要な時間（分）
①Unit 1: Talking about yourself, Unit 2: Talking about routines, Unit 3: Today I'm wearing...	対象Unitの予習・復習	90分
② Unit 4: What's happening?, Unit 5: Types of verbs, Unit 6: Vocabulary	対象Unitの予習・復習	90分
③Unit 7: How are you feeling?, Unit 8: Vocabulary, Unit 9: Routines and exceptions	対象Unitの予習・復習	90分
④ Unit 10: Vocabulary, Unit 11: What's the matter?, Unit 12, Vocabulary	対象Unitの予習・復習	90分
⑤ Unit 13: What's the weather like? Unit 14: Vocabulary, Unit 15: Making comparisons	対象Unitの予習・復習	90分
⑥ Unit 16: Talking about extremes, Unit 17: Vocabulary, Unit 18: Making choices	対象Unitの予習・復習	90分
⑦ Unit 19: Using large numbers, Unit 20: Vocabulary, Unit 21: Talking about dates	対象Unitの予習・復習	90分
⑧ Review	全体の復習	90分
⑨ Unit 22: Talking about the past, Unit 23: Past events, Unit 24: Past abilities	対象Unitの予習・復習	90分
⑩ Unit 25: Vocabulary, Unit 26: Irregular past verbs, Unit 27: Vocabulary	対象Unitの予習・復習	90分
⑪ Unit 28: Telling a story, Unit 29: Asking about the past, Unit 30: Applying for a job	対象Unitの予習・復習	90分
⑫ Unit 31: Types of questions, Unit 32: Someone, anyone, everyone, Unit 33: Making conversation	対象Unitの予習・復習	90分
⑬ Unit 34: Vocabulary, Unit 36: Plans and intentions, Unit 37: What's going to happen	対象Unitの予習・復習	90分
⑭ Unit 38: Vocabulary, Unit 39: Making predictions, Unit 40: Making quick decisions	対象Unitの予習・復習	90分
⑮ Final Review	全体の復習	90分

使用テキスト：	その他参考文献など： ・English for Everyone: Level 2: Beginner, Practice Book: A Complete Self-Study Program ・English for Everyone: English Grammar Guide: A Comprehensive Visual Reference ・English for Everyone Grammar Guide Practice Book

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：Making mistakes and expressing yourself is the best way to discover and explore language. Keep up the hard work and let's not only learn about English but also about each other!

看護学科

科目名: 日本文化			担当教員 氏名: 藤橋 洋子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
看護は人の健康をサポートすることです。 主に、日本の風土の中で生活している人々です、したがって人を理解するには、日本の文化(生活文化)を理解することも必要です、長い時を経て発展して来た、幅広い分野です、人はいかに生きるか、何を望むのか。 日本文化の特性を学び広い視野を養い、看護職として必要な技術の中に含まれる礼儀作法を身に付ける。また、日常生活のの中にある日本文化を楽しむ心のゆとりを養う。	暦 歳時記 宗教 思想 伝統文化 社会 言語 風土 茶道

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 2．5．6．8
A 知識・理解力	日本の気候や風土の中ではぐくまれた日本固有の文化を体系的に学び日本人の心を知る。自己学修能力を高め、意見交換をし考えを発展させて行く。
G 倫理観	看護師として人に接する心、慈しみの心を養い、看護の理論及び技術能力を高める。視野を広げ心豊かな感性や価値観を養い、社会の規範やルールに従って行動できる。自ら行動し、他者の理解も深めコミニュケーションができるようになる。
H コミュニケーション力	

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 50 %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %

特記事項:
発表における姿勢(態度)を重要とする。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学修 (ディスカッション、ディベート) グループワーク プレゼンテーション (実習、フィールドワーク)

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:課題レポート提出(6月初旬)、最終講義において発表課題レポート提出(7月中旬)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:課題レポートを読み、感想や意見を記入し返却する

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①日本文化論(自然に寄り添い、多神教に基づいた生活文化)	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
②日本人の自然観 (暦・二十四節気・陰陽五行・六曜)	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
③歳時記(歴史的由来・暮らしの中の仕来りと豊かさ)正月・十二支・お盆・ハレとケ・五節句	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
④人生の行事 (出産～人生の終活)日本人の宗教観・気質	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
⑤伝統文化・工芸・芸術の現世代の取り組と心 (課題レポート)	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
⑥精神性にもとづいたおもてなしの心 (茶・華・香・書道)	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
⑦伝統芸能 (雅楽・舞・歌舞伎・文楽・長唄)	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
⑧世間の付き合い (時候の挨拶・手紙・エチケット・会食のマナー)	【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめる	60分
講義の進み具合によって体験茶会の実施を考えています		

使用テキスト: 日本の文化 (講師が作成して配付します)	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): お互いに礼節を持って講義を進めて行きます。日本文化の良さを知ると外国の文化の良さも見えてくると思います。より豊かな見解を得るためにも、日常生活の中での楽しみを見つけてほしいと思って、経験したことからも、講義を致します。

看護学科

科目名: 日本語表現技法			担当教員 氏名: 廣瀬 裕子			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
主体的対話的な学びを通して、相手意識を持ち、よりよいコミュニケーションができるようになるとともに、相手に自分の思いや考えをを正確に伝えられる力を身につける。	

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 5. 7
A 知識・理解力	言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、自分の思いや考えを表現するために必要な語句の量を増やす。
C 論理的思考力	伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、正確に相手に伝える。
H コミュニケーション力	他者に自分の考えを的確に表現したり、相手の言葉や態度を正確に理解したりする力を身につける。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 40 %	レポート: 30 %	発表: 10 %	実技試験: %	その他: 20 %

特記事項: テスト…最終回の小論文提出 レポート…各回終了後まとめを提出
発表…授業中の発表 その他…授業中の態度と出席状況など

アクティブラーニング要素: 自分で考え、ペアまたはグループで話し合い、全体で共有する。
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:
各回終了後、授業のまとめを提出。最終回に小論文テスト。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:
提出された課題にアドバイスなどを行い返却。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
① ガイダンス	自己紹介文を書く	60分
② 必要な情報の入った文章	絵を見て説明文を書く	60分
③ 筋の通った文章の書き方	例文をわかりやすく直す	60分
④ 小論文の書き方 その1	事実と意見を分けて書く	60分
⑤ 小論文の書き方 その2	4段落の小論文を書く	60分
⑥ レポートの書き方	基本に則って書く	60分
⑦ 接続表現の理解 多様な言語表現	さまざまな接続関係を理解する オノマトペを集めその意味するところを考察する	60分
⑧ 小論文の実際	設定された題材で600字程度の小論文を書く	60分
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

使用テキスト: 特になし	その他参考文献など: 国語辞典を授業中は携帯すること。電子辞書可。

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):
毎時間の提出物を必ず時間内に提出する。
毎日、新聞記事に目を通す。特に医療関係の記事には注目しておくこと。

看護学科

科目名： ICTベーシック			担当教員　氏名： 浦城 尚武		
単　位	開講時期（年次・期）	科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
1	1年次　前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：					

授業科目の学習教育目標の概要：	キーワード
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進んでいる。また幼児教育の現場でも、園児記録や保護者通信などで、コンピュータを活用する場面が増えてきた。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。	コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、ワード、パワーポイント、情報セキュリティ

授業における学修の到達目標

学習教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．2．8
A　知識・理解力	・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windows10の基礎知識を学習する。
D　問題解決力	・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft　Power Point」の基本操作を修得する。

成績評価の方法・基準：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト：　％	レポート：　50　％	発表：　20　％	実技試験：　％	その他：　30　％

特記事項：　・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。
・授業外の予習・復習が不可欠であり、アクティブ・ラーニングとして、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。

アクティブラーニング要素：
課題解決型学修　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期：授業中後半に毎回課題演習を行う。またグループワークによる成果物を数回提出する。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。またグループワークによる成果物については、グループでの関わり方の結果を伝える。

授　業　計　画	準備学習（予習・復習等） 学習内容	学習に必要な時間（分）
①　情報化社会の現状とセキュリティの基礎知識の理解	情報化社会の現状と課題について調べる	【予習】30分 【復習】30分
②　ビジネスメールの作成とマナーの理解	ビジネスシーンとメールの活用	【予習】30分 【復習】30分
③　Wordによる文書作成（基本的な機能）の習得	Wordの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
④　Wordによる文書作成（実用的な機能）の習得	Wordの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
⑤　グループによるドキュメント制作	GoogleWorkspaceのアプリ「ドキュメント」の活用	【予習】30分 【復習】30分
⑥　プレゼンテーション技法とPowerpointによるスライド作成（基本的な機能）の習得	PowerPointの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
⑦　Powerpointによるスライド作成（表、グラフの挿入、アニメーションの活用）	PowerPointの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
⑧　グループワークによる発表スライドの制作	GoogleWorkspaceのアプリ「スライド」の活用	【予習】30分 【復習】30分

使用テキスト：	その他参考文献など：
＜電子書籍（ManaMo）＞イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル Office2016対応	情報リテラシー（noa出版） Officeソフトで作る文書ドリル全55題（noa出版）

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習をすること。グループでドキュメント制作をするので、チームワークのスキルを磨くこと。